



これは「ユニット」でのひとコマです。まるでホテルルームのような内装にみんな目をみはってました。このときに職員の方がいらしたので、ユニット内での生活を聞かせていただくことも出来ました。全ての部屋に採光が工夫されていて、ユニット内だけでなく、施設全体に光が溢れていました。



ここは子どもたちが自分の時間を過ごすための個室です。「報恩 母の家」では子どもたちのプライバシーを尊重した設備構造になっています。学生の中からは「自分の部屋よりきれい」という声も聞かれました。



ここは子どもたちの勉強部屋です。学習ボランティアの方々と一緒になって学習に取り組んでいるそうです。これには写っていませんが、トロフィーや王監督のサインが置いてあり、結構すごいものが何気なく置かれていました。



「イエローサフマリン」と呼ばれる心理棟でのひとコマ。心理棟といってもフレイルームのような感じです。副園長先生の説明にみなさん真剣な面持ちで聞いていました。



「イエローサフマリン」の奥にある物置部屋（？）の中です。どちらかという、「おもちゃ箱」という感じの部屋でしょうか？ぬいぐるみや箱庭療法のための道具がおいでしていました。



一通り見学が終わっての質問タイムの様子。多くの学生から様々な質問が飛び交っていました。副園長先生は一つひとつの質問に丁寧に答えて下さり、多くのことが学べました。ちなみに、この時に手作りプリンを振舞っていただきました。これがまたおいしい！ごちそうさまでした。



最後に「報恩 母の家」の設立者の銅像の前で写真を1枚パシャリ！